



プレス・リリース

RADIOHEAD

世界的人気バンド、レディオヘッドによる
「地球にやさしいワールド・ツアー」が日本に上陸
～来日ツアーの全公演でグリーン電力を使用へ～

情報解禁：2008年9月5日18:00

世界中で圧倒の人気を誇るバンド、レディオヘッドが10月に行う日本ツアー『RADIOHEAD JAPAN TOUR 2008』（企画・制作：Creativeman Productions）の全公演で使用する電力をグリーン電力で賄うことを本プレスリリースを通じて皆様にご案内申し上げます。

10月1日～8日に大阪市中央体育館 / さいたまスーパーアリーナ / 東京国際フォーラム・ホールA（総動員予定数：70,000人）で行われる『RADIOHEAD JAPAN TOUR 2008』にて、全公演中に消費する電力35,000kWh相当を、ホステス・エンタテインメントを介して株式会社自然エネルギー・コムが提供する「グリーン電力証書システム」を導入し、グリーン電力で賄うこととなりました。これにより、今回の来日の全公演で14,721kg（*注1）の二酸化炭素排出量を削減したとみなす事となり、これは一般家庭3,035世帯が一日に消費する電力量に相当します。（財）省エネルギーセンター「平成17年度待機時消費電力調査報告書」より算出。）

レディオヘッドは、今までに気候変動や森林破壊などといった環境問題に取り組む国際環境NGOである”Friends of the Earth (FoE)”の地球温暖化を訴えるキャンペーンを支援し、メンバーのトム・ヨークが英「The Observer」誌にて地球の気候変動に関する特集を組むなど、常日ごろから環境問題に高い関心を持ち、実際に取り組みを行ってきた数少ない世界的アーティストです。彼らの最新アルバム『In Rainbows』では、プラスチックが地球に及ぼす環境問題に対して懸念したことから、CD製品盤でのジュエルケース使用を廃止・環境負担の少ない紙ジャケットを使用しました。

現在彼らは世界的なツアーの最中ですが、今回事前にツアーでの二酸化炭素排出量（カーボン・フットプリント）を調査会社に依頼し、その結果を元にツアー全体の二酸化炭素排出量を減らすべく様々な側面からあらゆる試みが行われています。一例として、今年の5月に行われた北米ツアーでは、ステージ上の大掛かりな照明には通常の照明よりも省エネなLED（発光ダイオード）を使用し、さらには各コンサート会場が購入・供給するグリーン電力を使用。また、バックステージのケータリング等から排出された生ゴミは、会場のグラウンド整備チームや地元のガーデニングクラブによってリサイクル使用をし、各会場のコップは今回のツアーをサポートしているLive Nationの協力により、すべて堆肥利用可能な素材（とうもろこし）からできているコップを起用しました。さらにはメンバー自身もペットボトル入りの水ではなく、それぞれのマイ水筒を使用するなど、細かい点まで彼らが現在できる二酸化炭素排出削減への試みを北米ツアーでは実際に行いました。

ここ日本でも北米ツアーと同様に様々な試みが現在検討されています。日本のみならず、世界的なツアーで一貫して環境問題に対する実践的な試みをここまで徹底的に行っているアーティストは、現在のところレディオヘッドが唯一といっても過言ではありません。世界的にも初といえる”エコなワールド・ツアー”が実現されようとしています。

私たちホステス・エンタテインメントはこのような彼らの姿勢や試みに賛同し、そしてまた、この事によって少しでも多くの人達が環境問題に興味を抱くことを心に願います。

（*注1：青森県所在の風力発電所から発電されたグリーン電力28,000kWhおよび山梨県所在の水力発電所から発電されたグリーン電力7,000kWhのCO₂削減量は、それぞれ、東北電力公表の排出係数0.441kg-CO₂/kWhおよび東京電力公表の排出係数0.339kg-CO₂/kWhより算出。）

【レディオヘッド (Radiohead) について】

1987年結成、英国オックスフォード出身5人組ロック・バンド。1991年EMI/Parlophoneからのデビュー以降、通算6枚（本作を含めて7枚）のアルバムを発表。1997年のサード・アルバム『OK Computer』は、ロックをベースにエレクトロニクスを積極的に取り入れたその画期的な音楽性が高い評価を受け、米ビルボード・チャート第一位を獲得、世界的なメガ・ヒットとなる。以降、現在までにグラミー賞を4作品でのべ5部門受賞、ここ日本でもオリコン洋楽チャート初登場第一位を2回、日本武道館や横浜アリーナ、幕張メッセ等で公演を行い、『OK Computer』以降全ての作品がゴールドまたはプラチナ・ディスクを獲得するほど圧倒的な支持を受ける。07年10月、レディオヘッドは、既存のレコード会社や流通網を介さず、購買者が価格を決定できる自由価格制度を採用したウェブサイト「www.inrainbows.com」を開設、4年半振りの彼らの新作『In Rainbows』を著作権保護なしのMP3データとしてファンへ直接配給、爆発的なダウンロード数を記録し業界を震撼させた。同年12月26日、同作のCDを発売、事前の配信にもかかわらず12月度ゴールドディスクを獲得。その彼らが10月1日より日本ツアーを行う。既にさいたまスーパーアリーナ2日間、東京国際フォーラム・ホールAでの追加公演2日間のチケットは完売。

【ホステス・エンタテインメント (Hostess Entertainment) について】

ホステス・エンタテインメントは、日本におけるフィジカルおよびデジタル音楽市場で独自のアイデンティティの確立を目指す海外レコード・レーベルとアーティストのため、ローカライズされた独自のマネージメント、プロモーション、販売、マーケティング業務を提供する目的で、2000年に設立される。代表的なクライアントはドミノ・レコーディングス、V2 / コオペレティヴ・ミュージック、PIASエンタテインメント・グループといった世界有数の独立系レーベルを含み、これまでにモグワイ、レディオヘッド、アークティック・モンキーズ、ブロック・パーティー、ナイン・インチ・ネイルズ、エンター・シカリといったアーティストによる作品を発売している。

【グリーン電力について】

グリーン電力とは、風力・水力・地熱・バイオマス（生物資源）などといった発電の際CO₂をほとんど排出しない自然エネルギーにより発電された電力の事をいい、今回のレディオヘッドが行う来日公演では、株式会社自然エネルギー・コムが提供する「グリーン電力証書システム」といった自然エネルギーにより発電された電力の環境付加価値（CO₂排出量削減・省エネルギー等）を証書化して取引するシステムを導入し、青森県の風力発電所「社会福祉法人つくし会風力発電設備」と山梨県の水力発電所「山一発電所」で発電されるグリーン電力を使用したとみなされる。

【お問い合わせ先】

本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先：
ホステス・エンタテインメント プロモーション部
TEL 03-5724-4414 <http://www.hostess.co.jp> 担当: 飯沢 麻里 (mari@hostess.co.jp)

